



桃山学院大学生の

学生生活上の諸活動に関する

実態調査

報告書

(2008年12月実施)

まえがき

最近、若者バッシングという言葉をよく聞きます。年長者が、つまり親世代・教師世代が現代の若者の「だらしなさ」を嘆き、かつ叱るということです。もっとも、「今時の若者は……」という文句は古代エジプトのパピルスにも見いだせるとかで、いまにはじまったことではありませんが。

それにたいして、若者たちは、「今時のオトナたち」が根拠もなく自分の体感からのみ若者叩きにいそしんでいる、と批判しているようです。統計やアンケートに基づかない若者バッシングにたいして、若者自身から不審・不満の声があがっているというわけです。たしかに、この若者の声には一理も二理もあるでしょう。わたしたちはまず、若者たちの実態を正確に把握しなければなりません。本報告書がそのために役立つことを確信しております。

けれども、単にアンケートをまとめ、統計をとることが重要なわけではありません。もっとも重要なのは、お互いに理解しようとする精神のほうなのかもしれません。

なんとなく「生きづらい」と感じる若い人びとが多くなりました。この先の世界の成り行きについても、見通しのきかないことばかりです。まだ社会のなかに定位置をもたない若者がいろいろな困難を抱えてしまうのは、当たり前でしょう。

現在の大学は、このように難しい時代のなかで成長していく若い人びとの精神的な支えになるという新たな課題を背負っています。学生生活委員会はその課題を果たしていくうえで中心的役割を担っていると自負するとともに、日々さまざまな難問に直面し、その責任の大きさを感じております。

教職員の方々には、この学生実態調査の報告から、それぞれの現場においてそれぞれの見解と方向と改善策を見いだしていただければ、嬉しいです。

保護者の皆様にとっては、成長していくにつれ見えにくくもなっていく「我が子」の姿を垣間見る機会になることができれば、と願っております。

学生諸君は、どうぞ、ここから自分とは違う他者の姿を、そして自分と同じ仲間の姿を発見してください。みなさんは教育受け、成長し、やがて独りで歩いていく存在ですが、決して独りぼっちで生きているわけではありません。

本報告書のなかに、桃山学院大学のさまざまな美点と、そして欠点が開示されています。この報告書が十分に活用されることを願ってやみません。

2009年3月

桃山学院大学学生生活委員会
委員長 高田里恵子

目次

I. 本調査について	1
II. 調査の概要	3
III. 回答者の基礎資料	4
第一章 学業等について	7
第二章 課外活動について	8
第三章 経済・生活状況	10
第四章 読書について	12
第五章 悩み・健康	13
第六章 情報関連について	16
第七章 自由記述	18
学生生活実態アンケート用紙	23

I. 本調査について

多様化する学生の実態を把握することは、学生サービスの更なる充実に繋がるとともに、大学の自己点検・自己評価の指針として重要である。

そこで本学では、1994年より毎年1回、ポイントを絞った形で独自の学生生活実態調査を実施している。94年度は奨学金制度の改革および特に下宿生へのサポート体制の確立に向けた資料作りとして「経済状況調査」を実施し、翌95年度は和泉新キャンパス移転に伴う学生生活の環境変化およびクラブ・サークル活動、大学祭など正課外のキャンパスライフおよびイベントへの関心度を探る「課外活動に関する実態調査」を実施、また96年度は大学への登校時刻・出席コマ数から食事のとり方、趣味・嗜好品、悩み事までにいたる「個人生活」について実施した。各々の調査結果は「下宿物件の開拓」「奨学金制度の改革」「学生福利厚生等施設の建設」などに生かされたほか、「自由回答」にある様々な「声」を大学として責任をもって受け止め、それに応える機関としての「わたしの提案箱（A.C.C）制度」の実施（1998年度から発足）など、学生サービス諸施策の立案や制度改革に取り組み、一定の成果を上げてきた。

それから十数年が経過した現在、課外活動分野の調査のみならず、学生生活における正課活動の「位置づけ」から個々の諸活動にまで項目を掘り下げ、本学学生をとりまくすべての環境と動向について調査を行った。

第一章 学業等について

- ① 資格課程
- ② 進路

第二章 課外活動について

- ① クラブ・サークルへの加入について
- ② クラブ・サークル活動の満足度
- ③ ボランティア活動について

第三章 経済・生活状況

- ① 学費について
- ② 奨学金
- ③ 奨学金の必要度
- ④ 主たる家計支持者の年収について
- ⑤ 現在の住居について
- ⑥ アルバイトについて

第四章 読書について

- ①本学図書館の利用について
- ②読書に要する費用について
- ③読書の量について
- ④読書に費やす時間について

第五章 悩み・健康

- ①現在の関心事について
- ②現在の悩みについて
- ③困ったとき、悩んだ時の相談相手について
- ④日頃のストレスについて
- ⑤日頃の健康について
- ⑥健康についての気遣いについて
- ⑦飲酒について
- ⑧喫煙について
- ⑨嫌煙について
- ⑩睡眠時間について
- ⑪食生活について
- ⑫朝食について

第六章 情報関連について

- ①パソコン保有状況
- ②ワープロ習得状況
- ③パソコンの主たる利用目的について
- ④インターネットの利用について
- ⑤本学ホームページの利用について
- ⑥本学情報センター自習室（PCロビー舎）の利用について
- ⑦本学からの情報について
- ⑧本学から送信されるメールについて

第七章 自由記述

II. 調査の概要

○調査期間：2008年11月18日～12月8日の21日間で行った。

○調査方法：調査依頼は本人住所宛に郵送。回収方法は、郵送（料金 受取人＜大学＞払の返信用封筒在中）または学生課窓口持参とした。

○調査対象：学部学生（04生以上・05生・06生・07生・08生）から無作為・等間隔で1,000人を抽出した。

○有効回答者数：244名（回答率：24.4%）

○回収数内訳：以下の通り。

※今年度より文学部が国際教養学部へ改組のため、学部欄の項目を追加した。

		04生以上	05生	06生	07生	08生
経済学部	依頼数	16	58	59	58	59
	回答数	2	10	12	13	14
	回答率	12.5%	17.2%	20.3%	22.4%	23.7%
経済学科	依頼数	16	58	57	57	57
	回答数	2	10	11	13	14
	回答率	12.5%	17.2%	19.3%	22.8%	24.6%
中国ビジネス キャリアコース	依頼数			2	1	2
	回答数			1	0	0
	回答率			50.0%	0.0%	0.0%
社会学部	依頼数	16	46	46	46	46
	回答数	4	11	17	16	11
	回答率	25.0%	23.9%	37.0%	34.8%	23.9%
社会学科	依頼数	13	36	33	33	37
	回答数	2	6	14	10	8
	回答率	15.4%	16.7%	42.4%	30.3%	21.6%
社会福祉 学科	依頼数	3	10	13	13	9
	回答数	2	5	3	6	3
	回答率	66.7%	50.0%	23.1%	46.2%	33.3%
経営学部	依頼数	15	46	46	46	47
	回答数	0	8	6	10	11
	回答率	0.0%	17.4%	13.0%	21.7%	23.4%
文学部	依頼数	16	46	46	46	
	回答数	5	11	16	11	
	回答率	31.3%	23.9%	34.8%	23.9%	
英語英米 学科	依頼数	5	15	21	16	
	回答数	0	3	6	0	
	回答率	0.0%	20.0%	28.6%	0.0%	
国際文化 学科	依頼数	11	31	25	20	
	回答数	5	8	10	11	
	回答率	45.5%	25.8%	40.0%	55.0%	
国際教養学部	依頼数					46
	回答数					17
	回答率					37.0%
法学部	依頼数	18	33	33	33	33
	回答数	6	10	8	4	11
	回答率	33.3%	30.3%	24.2%	12.1%	33.3%

Ⅲ 回答者の基礎資料（フェイス）

○性別（問2）

男	133	(54.5%)
女	108	(44.3%)
不明	3	(1.2%)

○所属学部・学科（問1）

	学部学科別 回答数	全学における 比率	女子学生の数	学部学科に おける比率
経済学部	51	20.9%	13	25.5%
経済学科	50	20.5%	13	26.0%
中国ビジネスキャリアコース	1	0.4%	0	0.0%
社会学部	59	24.2%	28	47.5%
社会学科	40	16.4%	16	40.0%
社会福祉学科	19	7.8%	12	63.2%
経営学部経営学科	35	14.3%	15	42.9%
文学部	43	17.6%	27	62.8%
英語英米学科	9	3.7%	5	55.6%
国際文化学科	34	13.9%	22	64.7%
国際教養学部国際教養学科	17	7.0%	13	76.5%
法学部法律学科	39	16.0%	12	30.8%

※社会学部社会福祉学科、文学部国際文化学科、法学部法律学科において各1名性別不明者があった。

○年次（問3）

各学年の学生数

（回答数における比率）

1年次	64（26.2%）
2年次	54（22.1%）
3年次	59（24.2%）
4年次	50（20.5%）
5年次以上	17（7.0%）

○入試制度（問4）

推薦入学	114（46.7%）
指定校制	39（16.0%）
公募制	72（29.5%）
スポーツ	3（1.2%）
AO入試	13（5.3%）
一般入試	94（38.5%）
前期A日程	32（13.1%）
前期B日程	28（11.5%）
前期センター利用	14（5.7%）
後期日程	18（7.4%）
一般入試センター利用	2（0.8%）
その他	19（7.4%）
不明	4（1.6%）

○性別

性別	男性	女性	不明	合計
	133	108	3	244
	54.5%	44.3%	1.2%	100%

○ 年次

年次	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	合計
	64	54	59	50	17	244
	26.2%	22.1%	24.2%	20.5%	7.0%	100.0%

○ 入試制度

入試 制度	推薦入学 (指定校 制)	推薦入学 (公募制)	推薦入学(ス ポーツ)	AO 入試	一般入試 前期 A 日 程	一般入試前 期 B 日程	一般入試 前期センター 利用方式	一般入試 後期日程	一般入試後 期センター利 用方式	その他	合計
	39	72	3	13	32	28	14	18	2	23	244
	16.0%	29.6%	1.2%	5.3%	13.1%	11.5%	5.7%	7.4%	0.8%	9.4%	100.0%

第一章 学業等について

①資格取得

本学で一番取得したい資格取得について、「特にない」という学生が昨年度に引き続き最も多く 62.3%と特に高くなっている（昨年度 40.5%）。続いて「教育職員養成課程」10.5%、「司書課程」8.5%、「社会福祉士受験資格課程」6.5%、「日本語教員資格」5.7%となっており、本学で取得できる資格に興味を示していないのが残念である。

②進路

卒業後の進路希望について、「民間企業」と答えた学生が 55.0%と最も高く、続いて「まだ考えていない」11.2%、「社会福祉関係」10.9%、「地方公務員」7.4%、「国家公務員」5.8%となっている。また、自分の進路のために一番身につけたいものについて、「資格取得」と答えた学生が 25.5%と最も高く、①資格取得との回答と矛盾する。これについては、資格取得についての学生のニーズが多様化していると考えられる。続いて、「コミュニケーション能力」24.3%、「専門知識」17.3%、「問題解決能力（論理的思考）」10.2%となっている。「コミュニケーション能力」と答えている学生が多く、就職するにあたり、「コミュニケーション能力」に不安をもっている学生が多いのがわかる。

5	本学で一番取得したい資格課程	教育職員養成課程	司書課程	司書教諭課程	博物館学芸員課程	社会福祉士受験資格課程	精神保健福祉士受験資格課程	社会調査士資格	日本語教員資格	特にない		合計
		26	21	1	1	16	4	10	14	154		247
		10.5%	8.5%	0.4%	0.4%	6.5%	1.6%	4.0%	5.7%	62.3%		100.0%
6	卒業後の進路希望	民間企業	国家公務員	地方公務員	教員	社会福祉関係	各種団体	家業を継ぐ	自由業	進学	まだ考えていない	合計
		142	15	19	6	28	3	3	8	5	29	258
		55.0%	5.8%	7.4%	2.3%	10.9%	1.2%	1.2%	3.1%	1.9%	11.2%	100.0%
7	自分の進路のために一番身につけたいもの	専門知識	語学力	情報処理技術	資格取得	コミュニケーション能力	問題先元解決能力(論理的思考)	その他	特にない			合計
		44	28	16	65	62	26	6	8			255
		17.3%	11.0%	6.3%	25.5%	24.3%	10.2%	2.4%	3.1%			100.0%

第二章 課外活動について

① クラブ・サークルへの加入について

クラブ・サークルへの加入については、「不参加」と回答した学生が最も高く 35.7%であった。続いて、「サークル等」が 33.1%、「体育系クラブ」が 16.5%、「文化系クラブ」が 10.3%となった。クラブ・サークルへの不参加の理由として、「興味がない」と回答した学生が 22.9%と最も高く、正課以外での人間形成に役立つことで、大学としても課外活動への参加を推奨していることから、この結果は非常に残念である。また、「アルバイトとの両立が難しい」「入ったがあわなかった」と回答した学生が共に 20.0%となっており、大学側からもネットワーク形成に関するプログラムを数多く設定する必要があると思われる。

② クラブ・サークル活動の満足度

クラブ・サークル活動の目的として、最も高かったのは「よい友達をつくることができる」で 28.9%であった。続いて、「人格形成に役立っている」が 21.4%、「技術・教養を高めることができる」が 16.3%であった。クラブ・サークル活動は、上記のようなメリットがあるため、今後も課外活動への参加について、大学としても推奨していきたい。

③ ボランティア活動について

ボランティア活動について、「参加したことがない」と回答した学生が 42.5%と最も高かった。参加者については、「地域活性化関係」と回答した学生が 21.7%、続いて「障害児・者関係」が 14.7%であった。クラブ・サークル活動同様、友達づくりや人間形成に役立ち、当該地域等にも貢献できることから、これからも大学としてボランティア活動への参加について、推奨していきたい。

8	所属クラブ ※複数回答可	体育系クラ	文化系クラ	サークル等	その他	不参加			合計
		45	28	90	12	97			272
		16.5%	10.3%	33.1%	4.4%	35.7%			100.0%
9	不参加の理由は？ (※5 不参加を選択した方のみ)	アルバイトとの両立が難しい	遠距離通学	入りたいクラブ・サークルがない	興味がない	入ったがあわなかった	その他		合計
		21	18	11	24	21	10		105
		20.0%	17.1%	10.5%	22.9%	20.0%	9.5%		100.0%
10	クラブ活動は？ ※複数回答可	人格形成に役立っている	技術・教養を高めることができる	よい友達をつくること ができる	勉強の合間の気休めである	無意味である	その他	不参加なので、わからない	合計
		80	61	108	10	24	4	87	374
		21.4%	16.3%	28.9%	2.7%	6.4%	1.1%	23.3%	100.0%
11	今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか。 ※複数回答可	障害児・者関係	高齢者関係	医療・保健関係	災害援助関係	地域活性化関係	その他	参加したことがない	合計
		44	33	4	8	65	18	127	299
		14.7%	11.0%	1.3%	2.7%	21.7%	6.0%	42.5%	100.0%

第三章 経済・生活状況

①学費について

本学学生が学費納入手段として主に考えているものは、「家庭から」と回答した学生が昨年度同様 70.6%と最も高く（昨年度 58.4%）、続いて、「奨学金」が 24.2%であった（昨年度 23.2%）。昨今の景気の状態を考えると、奨学金への依存度が高くなるのはやむをえない。

②奨学金について

本学での奨学金については、「よく知っている」が 31.2%、「関心はあるが、よくわからない」が 29.0%となっている。

③奨学金の必要度

奨学金の必要度については、「必ず受けない」「希望するが受けられない場合は仕方ない」を合わせると 57.0%となり、半数を上回る結果となった。長引く不況の影響からか、前年度と比較すると約 4%増加した。

④主たる家計支持者の年収について

主たる家計支持者の年収については、「400万円未満」が 27.0%と最も高く（前年度は「400万円以上600万円未満」と回答した学生が 25.6%と最も高かった）、前年度から約 6%増加した。

⑤現在の住居について

現在の住居については、「自宅」と回答した学生が、81.7%と最も高く、前年度と比較すると約 7%増加した。また、「下宿」と回答した学生は、13.7%であり前年度と比較して約 3%減少した。

⑥アルバイトについて

アルバイトの必要度について、最も回答率が高かったのは、「生活費のため必要」（38.7%）であった。続いて、「旅行・レジャー費のため必要」が 26.3%、「クラブ活動等のため必要」が 16.7%となっており、順位、回答率とも前年度と大きな差はなかった。

12	学費納入手段として主に考えているもの	家庭から	アルバイト代	奨学金	教育ローン	銀行借入れ	親戚等の援助	その他	合計
		187	11	64	0	1	2	0	265
		70.6%	4.2%	24.2%	0.0%	0.4%	0.8%	0.0%	100.0%
13	本学での奨学金について	よく知っている	関心はあるが、よくわからない	関心はあるが、親任せ	関心はなく、ほとんど知らない				合計
		84	78	45	62				269
		31.2%	29.0%	16.7%	23.0%				100.0%
14	奨学金の必要度	必ず受けたい	希望するが、受けられない場合は仕方ない	別に考えていない	受ける必要がない				合計
		98	51	87	25				261
		37.5%	19.5%	33.3%	9.6%				100.0%
15	主たる家計支持者の年収(税込)は？	400万円未満	400万円以上600万円未満	600万円以上800万円未満	800万円以上1000万円未満	1000万円以上1500万円未満	1500万円以上		合計
		67	62	48	48	16	7		248
		27.0%	25.0%	19.4%	19.4%	6.5%	2.8%		100.0%
16	現在の住居は？	自宅	下宿(本学紹介物件)	下宿(一般のマンション・アパート・文化住宅)	親戚・知人宅	その他			合計
		214	36	10	2	0			262
		81.7%	13.7%	3.8%	0.8%	0.0%			100.0%
17	アルバイトは必要？※複数回答可	学費のため必要	生活費のため必要	クラブ活動等のため必要	旅行・レジャー費のため必要	特に必要ではないが、よいのがあればやる	考えていない		合計
		36	146	63	99	27	6		377
		9.5%	38.7%	16.7%	26.3%	7.2%	1.6%		100.0%

第四章 読書について

①本学図書館の利用について

本学の図書館の利用について、「月4回以上」と回答した学生が最も多く（40.2%）、前年度と比較すると約9%増加した。

②読書に要する費用について

前年度に引き続き、「千円未満」と回答した学生が最も多く（61.5%）、読書にかかる費用が少ないことがわかる。

③読書の量について

前年度に引き続き、「月に1冊」と回答した学生が最も多く（32.4%）、続いて「月に2～4冊」が25.6%、「半年に1冊」が24.4%であった。

④読書に費やす時間について

前年度に引き続き、「1時間未満」と回答した学生が最も多く（41.1%）、読書に費やす時間が少ないことがわかる。

18	本学図書館の利用は？	月4回以上	月に2～3回	月に1回	たまに利用する	利用したことがない	合計
		105	52	23	76	5	261
		40.2%	19.9%	8.8%	29.1%	1.9%	100.0%
19	読書に要する費用は？(1ヶ月)	千円未満	千円以上3千円未満	3千円以上5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上	合計
		161	76	18	2	5	262
		61.5%	29.0%	6.9%	0.8%	1.9%	100.0%
20	本をどのくらい読みますか。	月に5冊以上	月に2～4冊	月に1冊	半年に1冊	読まない	合計
		17	67	85	64	29	262
		6.5%	25.6%	32.4%	24.4%	11.1%	100.0%
21	読書に費やす時間は？(1日)	7時間以上	4～6時間	1～3時間	1時間未満	まったく読まない	合計
		3	13	85	90	28	219
		1.4%	5.9%	38.8%	41.1%	12.8%	100.0%

第五章 悩み・健康

①現在の関心事について

現在の関心事について、最も多く回答があったのは、「卒業後の進路」(26.7%)で、前年度と比較すると約6%の増加であった。不況による就職の不安がこの結果に繋がっていると思われる。

②現在の悩みについて

現在の悩みについては、前年度同様「就職・将来の進路」と回答した学生もっとも多かった。関心事同様、将来に対しての不安があるのがわかる。

③困ったとき、悩んだ時の相談相手について

前年度に引き続き、「友人」と回答した学生が最も多く、続いて、「親」が26.9%と、前年度と大きな差は見られなかった。

④日頃のストレスについて

今年度より、質問項目に追加した。日頃学生がどれほどのストレスを感じているかについては、「ストレスを感じている」「ややストレスを感じている」と合わせて67.1%となっており、高い数字を示している。

⑤日頃の健康について

前年度同様、「おおむね健康」と回答している学生が最も多く(37.6%)、続いて「健康上心配がない」(29.4%)、「健康でまったく異常がない」(18.8%)となっている。

⑥健康についての気遣いについて

前年度同様、「普通」と回答している学生が最も多く(40.9%)、続いて「少し気をつけている」(34.7%)、「あまり気にしない」(12.0%)となっている。

⑦飲酒について

前年度同様、「月に一度は飲む」と回答している学生が最も多く(39.8%)、続いて「全く飲めない、飲まない」(33.6%)、「1週間に一度は飲む」(15.8%)となっている。

⑧喫煙について

前年度同様、「吸わない」と回答している学生が最も多く(83.9%)、昨年度に比べ5%増加した。

⑨嫌煙について

前年度同様、「隣で喫煙されると不快である」と回答している学生が最も多く(66.7%)、昨年度に比べ約10%増加した。

⑩睡眠時間について

前年度同様、「5時間以上6時間未満」と回答している学生が最も多く(37.6%)、続いて「6時間以上7時間未満」(33.6%)となっている。

⑪食生活について

前年度同様、「3食食べるが、時間は不規則だ」と回答している学生が最も多く（44.8%）、続いて「3食決まった時間に食べる」（21.2%）となっている。

⑫朝食について

朝食を食べないことがある場合の理由について、前年度同様、「時間がない」と回答している学生が最も多く（41.8%）、続いて「毎日きちんと食べているので当てはまらない」（32.9%）、「食欲がない」（12.0%）となっている。

22	現在の関心事は？ ※複数回答可	学問研究	クラブ・サークル活動(体育)	クラブ・サークル活動(文化)	社会的諸問題	芸術・演芸	卒業後の進路	アルバイト	交友関係	その他	特になし	合計
		54	47	33	53	21	154	89	100	21	4	576
		9.4%	8.2%	5.7%	9.2%	3.6%	26.7%	15.5%	17.4%	3.6%	0.7%	100.0%
23	現在の悩みは？ ※複数回答可	勉学のこと	健康上や自分の性格・能力	人生観	就職・将来の進路	友達のこと	異性のこと	家族・家庭内のこと	学費・家計などの経済問題	その他	特になし	合計
		83	58	43	168	23	44	16	51	8	21	515
		16.1%	11.3%	8.3%	32.6%	4.5%	8.5%	3.1%	9.9%	1.6%	4.1%	100.0%
24	困ったとき、悩んだ時の相談相手は？ ※複数回答可	友人	親	兄弟姉妹	先生	カウンセラー等の専門家	その他	相談する人がいない	誰にも相談したくない			合計
		161	109	33	13	5	23	13	21			378
		42.6%	28.8%	8.7%	3.4%	1.3%	6.1%	3.4%	5.6%			100.0%
25	日頃のストレスについて	ストレスを感じている	ややストレスを感じている	あまりストレスを感じていない	ストレスは感じていない							合計
		51	122	64	21							258
		19.8%	47.3%	24.8%	8.1%							100.0%
26	日頃の健康について	健康でまったく異常がない	健康上心配がない	おおむね健康	調子が悪い時がある	調子が悪い						合計
		53	83	106	28	12						282
		18.8%	29.4%	37.6%	9.9%	4.3%						100.0%
27	健康についての気遣いは？	非常に気を付けている	少し気を付けている	普通	あまり気にしない	全く気にしない						合計
		25	90	106	31	7						259
		9.7%	34.7%	40.9%	12.0%	2.7%						100.0%
28	飲酒について	毎日のように飲む	2~3日に一度は飲む	1週間に1度は飲む	月に1度は飲む	全く飲めない、飲まない						合計
		13	15	41	103	87						259
		5.0%	5.8%	15.8%	39.8%	33.6%						100.0%
29	喫煙について	吸わない	1日に5本未満	1日に5本以上10本未満	1日に10本以上20本未満	1日に20本以上						合計
		219	12	8	18	4						261
		83.9%	4.6%	3.1%	6.9%	1.5%						100.0%
30	嫌煙について	隣で喫煙されても不快ではない	隣で喫煙されると不快である									合計
		84	168									252
		33.3%	66.7%									100.0%
31	睡眠時間について	3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上					合計
		1	12	35	97	74	39					258
		0.4%	4.7%	13.6%	37.6%	28.7%	15.1%					100.0%
32	食生活について1番当てはまるものは？	3食決まった時間に食べる	3食食べるが、時間は不規則だ	朝食を食べないことがある	朝食はほとんど食べない	当てはまるものがない						合計
		55	116	47	25	16						259
		21.2%	44.8%	18.1%	9.7%	6.2%						100.0%
33	朝食を食べないことがある場合、その理由は？※複数回答可	時間がない	食欲がない	経済的理由	ダイエットのため	食べたり作ったりするのが面倒	その他	毎日きちんと食べるので当てはまらない				合計
		94	27	1	3	18	8	74				225
		41.8%	12.0%	0.4%	1.3%	8.0%	3.6%	32.9%				100.0%

第六章 情報関連

①パソコン保有状況

前年度同様、「自分用がある」と回答した学生が45.7%（前年度40.5%）と最も多く、前年度と比較すると約5%増加した。

②ワープロ習得状況

前年度同様、「普通に打てる」と回答した学生が58.8%（前年度44.6%）と最も多く、前年度と比較すると約14%増加した。また、「ゆっくり打てる」「打てない」と回答した学生は、前年度に比べ、合わせて約8%減少した。

③パソコンの主たる利用目的について

前年度同様、「インターネット（ホームページ）」と回答した学生が78.4%と最も多く（前年度75.2%）、続いて、「ワープロ」が11.3%（前年度12.4%）となっている。

④インターネットの利用について

「ほぼ毎日」と「時々」を合わせると97.7%（前年度90.1%）となり、前年度と比較すると約7%増加。高い割合を占めている。

⑤本学ホームページの利用について

「1ヶ月に1度くらいは利用する」と回答した学生が40.5%（前年度28.1%）と、前年度に比べ大幅に増加した。その他の項目については、全て若干減少している。

⑥本学情報センター自習室（PCロビー含）の利用について

「毎日利用する」「1週間に1度くらいは利用する」「1ヶ月に1度くらいは利用する」と回答した学生は、前年度と大きな差は見られなかったが、「利用していない」と回答した学生が17.1%（前年度9.5%）となっており、残念な結果となった。

⑦本学からの情報について

前年度同様、「ホームページ」と回答した学生が49.1%（昨年度47.7%）と最も多く、続いて、「掲示板」が39.7%（前年度44.8%）となっている。「掲示板」での情報収集より、「ホームページ」へ移行されてきているのがわかる。また、「教室棟エントランスモニター」が5.9%（前年度0.3%）となっており、前年度に比べ約5%増加した。

⑧本学から送信されるメールについて

前年度は「必ず見る」と回答した学生が最も多かったが、今年度は「たまに見る」が40.2%（前年度31.4%）と最も多かった。

34	パソコン保有状況	自分用がある	家族と共用のものがあるが、自分用がほしい	家族と共用のものがあるが、自分用はほしくない	持っていないが、所有する予定がある	持っていないが、所有する予定はない	合計
		118	73	55	4	8	258
		45.7%	28.3%	21.3%	1.6%	3.1%	100.0%
35	ワープロ習得状況	速く打てる	普通に打てる	ゆっくり打てる	打てない		合計
		26	154	81	1		262
		9.9%	58.8%	30.9%	0.4%		100.0%
36	パソコンの主たる利用目的	ワープロ	E-メール	インターネット(ホームページ)	ゲーム	その他	合計
		32	16	222	5	8	283
		11.3%	5.7%	78.4%	1.8%	2.8%	100.0%
37	インターネットの利用は？	ほぼ毎日	時々	利用していない			合計
		116	137	6			259
		44.8%	52.9%	2.3%			100.0%
38	本学のホームページは？	毎日利用する	1週間に1度くらいは利用する	1ヶ月に1度くらいは利用する	半年に1度くらいは利用する	利用していない	合計
		13	108	104	21	11	257
		5.1%	42.0%	40.5%	8.2%	4.3%	100.0%
39	情報センター自習室(PCロビー含)の利用	毎日利用する	1週間に1度くらいは利用する	1ヶ月に1度くらいは利用する	半年に1度くらいは利用する	利用していない	合計
		8	81	85	40	44	258
		3.1%	31.4%	32.9%	15.5%	17.1%	100.0%
40	本学からの情報はどこで取得していますか？※複数回答可	掲示板	ホームページ	電光掲示板	教室棟エントランスモニター	少人数クラスを介して	合計
		149	184	8	22	12	375
		39.7%	49.1%	2.1%	5.9%	3.2%	100.0%
41	本学から送信されたメールは見えていますか？	必ず見る	たまに見る	見ない			合計
		105	107	54			266
		39.5%	40.2%	20.3%			100.0%

第七章 自由記述について

①講義等について

- ・ 補講期間を設けてほしい。5限にしてしまうとほかの講義と被ってしまい、集中できない。〈経済・男性・3回生〉
- ・ 映画学に興味があるのですが、最近そういう講義がないなと思います。ほかの大学ではいろいろあるので、当大学でもやってほしい。〈社会・男性・4回生〉
- ・ 授業をする先生の自己満足な内容の講義がある。学生が「わからない」と質問に行っても、お前が悪いとでも言うように相手にされなかった。〈国際教養・女性・1回生〉
- ・ 興味深い講義もあるが、中にはまったく興味を見出せない講義もある。むしろ、ほとんどそうであった。もっと、芸術・演芸・語学（実践的な）などの講義を増やすべきである。（経済系の授業は多すぎる）哲学、倫理学、社会学の講義の種類を増やすべきだと考えている。学生の心が発達してこそ、本学のモットーである世界市民は育てられるのではないだろうか。〈法学部・男性・4回生〉
- ・ 大学でのストレス、講義を受けるときの学生たちの態度にはびっくりしました。講義とは関係のない話をずーっとしているし、注意をうけても直らないのはどうして？学ぶために大学に通っているはずなのに、講義の先生の指示には従わない子が多いのはなぜですか？いろいろな夢を持って入った大学ですが、夢が1つずつこわれていく感じです。卒業までには、きちんと学べる講義体制に変わっていくのでしょうか。これから先も不安は残ります。〈経営・女性・1回生〉
- ・ 最近講義を受けていて、講義態度の悪い学生が多すぎるように感じます。先生の注意を受けても一時的なもので、ひどくなる一方です。〈社会・女性・3回生〉

②履修について

- ・ 予備登録の際、1週間丸々講義のお試し期間がほしい。今学期の場合、月曜日～木曜日の講義を試しに受けることができたけど、金曜日に登録締め切りだったため、金曜日の講義だけ試しで受けられなくて不利。シラバスだけでは講義内容が100%わかるわけではないので、最低一週間分の猶予がほしい。あと、確認期間に間違いがあっても変更できないのであれば、「確認」期間の意味がない。せひとも、ご検討お願いします。〈文学部国際・女性・2回生〉
- ・ 単位について。本大学は、文科省の指導に準じているようですが、他大学よりも年間取得可能単位数が少ないと思います。私事ではありますが、今4回生ですが、少ししんどいきがします。（就活の方との関係で）できれば、もう少し緩和できることを希望します。〈法学部・男性・4回生〉
- ・ 最初、自分がサボって大学に行っていなかったが、いざ行ってみて感じたことだが、他大学に比べて、圧倒的に年間に取得できる単位数が少ないように思います。せめて、1年次から、年間50単位以上は取得できるようになるといいと思います。〈法学部・男

性・5回生以上>

- ・履修登録の単位制度をはずしてほしい。もし、それがどうしてもムリなら、登録数を増やしてほしい。<法学部・女性・4回生>
- ・1年間に取れる単位が少ないので、就職活動のときにも講義をいくつも受けることになった。<文学部国際・男性・4回生>

③就職・進路・資格取得について

- ・就職や取得できる資格などを理解できていなくて不安。<経済・女性・2回生>
- ・就活のサポートはいらない。ほかの大学生に聞くと自分でしていたので。<経済・男性・4回生>
- ・就活のことがよくわかりません。講義の関係もあり、説明会を聞きに行く時間ありません。もう少し配慮してほしい。<福祉・女性・3回生>
- ・旅行業務取扱管理という資格が取れるような講座があると嬉しいです。<国際教養・女性・1回生>

④課外活動について

- ・所属しているクラブから、資格の勉強や大学の勉強よりクラブを優先するように言われ困っています。やめるように大学側から、ご指導いただけませんか。<経済・女性・2回生>
- ・体育会のクラブに所属しているのですが、鍵の貸し借りは体育会本部でできるようにしていただきたい。<経済・男性・3回生>
- ・ダンスサークルの使用場所の開放をお願いします。(カンタベリー館)軽音部のように、深夜も使用したいです。<経営・女性・4回生>

⑤喫煙・生活マナー関係

- ・構内全面禁煙にしてください。<経済・男性・1回生>
- ・喫煙所以外で喫煙している学生が多すぎる。また、吸殻があちこちにあって不快に感じるので、もっと注意してほしい。<経済・男性・3回生>
- ・歩きタバコの禁止をもっと強調してほしい。<経済・女性・2回生>
- ・一号館と三号館の入り口付近でタバコを吸っている人が多いように感じます。灰皿があるならまだいいのですが、地面に灰を落としたりしているのを見ると不快に感じます。タバコを吸える場所を考えたほうがいいのではないのでしょうか。<経済・男性・4回生>
- ・苦情など一般の人が迷惑する行為をした学生らには厳しく対処すべき。大学からのメールでそういった内容のものが送られてくるがただの警告、むしろ警告にすらなっていないので無意味。喫煙に対してもまったく同じで、先生が注意しているのにも関わらず言うことを聞かない学生、喫煙所でルールを守って吸っている人なんてほとんどいないし、ポイ捨ても毎日見る。学内のルールってものが、形だけで取り締まる人がいないのと一緒の状況。学生もたるんでいるが大学もたるんでいると見られてもおかしくないと思う。

(少し言い方が悪いですが) <社会・男性・1回生>

- ・ 歩きタバコをしている方も多く、捨てタバコのために汚いです。<社会・女性・3回生>
- ・ 分煙しているはずなのに、歩きタバコが目立ちます。<福祉・女性・2回生>
- ・ 学内で喫煙者にさらなる制限が必要だと思います。<福祉・男性・3回生>
- ・ 分煙を徹底してほしい。<経営・男性・2回生>
- ・ 喫煙コーナー以外で喫煙している学生が本当に迷惑です。非喫煙者の健康に影響が出るし、未成年者もいるのだから、喫煙を許可するのはダメだと思います。先生も注意しないし。本当にどうかしてください。<文学部国際・女性・2回生>
- ・ 駅から学校までの間の喫煙について、小さい子供が歩いているときでも、平気で吸う学生が多いので規制の強化をするべきでは？<文学部国際・女性・2回生>
- ・ 歩きタバコが多い。<国際・男・4・その他>
- ・ 灰皿が撤去されたため、学内の至る所に吸いガラが落ちていて非常に見苦しい。元通りに戻すべきである。清掃係の方の努力はすばらしい。彼女たちのおかげで大学の美化は保たれている。<法学部・男性・4回生>
- ・ ルールを守らない学生に対して、もっと厳しくしてほしい。(喫煙など) 体育会の部活での話しです。パンツのみで、部室棟をウロウロする体育会部員や、外(グラウンド横)などで着替えている体育会部員が不快。女子は、我慢するしかない状況で、大学から処分してくれないことが、悩み。後輩たちが心配です。<経営・女性・4回生>

⑥学費について

- ・ 学費を下げてください。<経済・男・2・前期B>
- ・ 学費が高いと思います。アルバイトをしながらの勉強が難しかったです。<経営・男性・4回生>

⑦施設面について

- ・ 駅から学校まで遠いので、たまに行く気が失せる。<経済・女性・2回生>
- ・ バイク駐輪所に屋根をつけてほしい。<経済・男性・3回生>
- ・ 学内のベンチを増やしてほしい。<経済・女性・2回生>
- ・ 学校が駅から遠いと思います。<経営・男性・4回生>
- ・ 私は大学の図書館と情報センターの静かな雰囲気と広い空間が好きです。大学の講義の後、ほとんどの場合どちらかを利用しています。特に私がいいと思うのは、情報センターのガラスで外とつながっているパソコンルームの空間です。時々、全席埋まっていて、使えないときがあって残念なことがあります。あそこは勉強に集中できるし、気持ちいい空間です。<文学部国際・男性・4回生>

⑧学内各事務所管について

- ・ 国際センターで新しいプログラムが増えるなど、新しいことにどんどん挑戦している大学だと思います。今、ボランティア活動に大変興味を持っているので、その分野にも力

を入れていただければと思います。ほかのアンケートでもいつも書いているのですが、学生課や教務課の方の態度がいつも悪く、不快に感じます。そんなに学生がうっとうしいのなら、対応専門の職員の方をおいてほしいです。〈社会・女性・3回生〉

- ・ 教務課の対応が悪いので、改善してほしい。〈経営・男性・4回生〉
- ・ 教務課の職員さんの対応があまり好ましくない。〈文学部国際・女性・2回生〉

⑨学食について

- ・ 食堂の値段を下げてほしいです。〈経済・男性・2回生〉
- ・ 大学生協は充実していて、いつもよく利用させてもらっている。〈経済・女性・2回生〉
- ・ 学食の値段が高い。〈経済・男性・3回生〉
- ・ 生協や学食が他大学のように遅い時間まで開けておいてほしい。〈社会・男性・5回生以上〉
- ・ 生協の弁当をもっと豊富に！〈福祉・男性・3回生〉
- ・ 生協を9時から開けてほしいです。〈経営・男性・3回生〉

⑩通学バスについて

- ・ 駅からのバスを無料にしてほしい。〈経済・女性・2回生〉
- ・ バス（和泉府中～大学）をもっと増やしてほしい。〈社会・男性・1回生〉
- ・ 大学直通バスをもっと増やしてほしい。値段も安くしてほしい。月8,000円以上もかかるのは高すぎる。〈社会・女性・2回生〉
- ・ 和泉中央からのバスを無料にしてほしい。〈福祉・女性・1回生〉
- ・ 和泉中央から大学までのバス代を無料またはもう少し安くしてほしいです。〈経営・女性・2回生〉
- ・ 泉北高速線のダイヤ時刻と大学直通のバスの時刻が合ってなくて、乗れない時間帯がある。バスに乗れば確実に間に合うくらいの時間なので、なんとかありませんか？電車の到着時刻とバスの出発時刻の差は少なくとも、2分or1分・・・はほしいです。〈文学部国際・女性・3回生〉

⑪アンケートについて

- ・ 「主たる家計支援者の年収」を問うのはどのような理由で、でしょうか。〈経営・女性・3回生〉
- ・ アンケートが多くないですか？〈法学部・男性・5回生以上〉

⑫その他

- ・ 車通学を許可してほしいです。〈福祉・男性・1回生〉
- ・ 本来必要としている学生がエレベーターを利用できない日があります。〈福祉・女性・2回生〉
- ・ 海外留学の援助をもっと手厚くしてほしいです。〈経済・男性・2回生〉
- ・ 経営、経済等の参考書が少ない。〈経営・男性・4回生〉

- ・ 大学のプリントアウト可能枚数が30枚だと足りないことが時々あります。あと、5～10枚増えると助かると思う人が多いのではないかと思います。＜文学部国際・不明・4回生＞
- ・ 奨学金の免除や半額対象をもう少し軽くしてほしい。＜法学部・男性・1回生＞

今回の自由記述欄で特に目立ったのが、「授業態度の悪さ」と「喫煙マナー」である。まず「授業態度の悪さ」に関しては、「学生から見た“学生マナーの悪化”」を憂う意見が数多く寄せられた。講義を進める以前に「環境整備（マナー指導）」を行う必要があると思われる。

「喫煙マナー」については、2007年度の分煙以後、喫煙所以外でも平然と喫煙している学生が目立つ。本アンケートにおいても、喫煙者は全学生の約16%程度であることから、一部の学生マナーのために、沢山の学生が迷惑していることは非常に残念に思う。今後もより一層喫煙問題については、検討を重ねていく必要があるだろう。